

新型コロナウイルス感染症に関する  
労働相談受付中

京都労働相談センターへ

# 京都総評

京都地方労働組合総評議会：発行

第 243 号

発行所  
京都市中京区壬生山念町30-2 ラポール京都5階  
京都地方労働組合総評議会（京都総評）  
電話 075 (801) 2308 FAX 075 (812) 4149  
E-mail sohyo@labor.or.jp URL http://www.labor.or.jp/sohyo/  
〈発行責任者〉 梶川 憲 〈編集責任者〉 吉岡 勝

京都労働相談センター

電話 0120-378-060 E-mail scent@labor.or.jp

## 働くものの生活と権利、平和と民主主義を守ろう

新型コロナウイルスの影響で、  
ミーデー集会・デモは中止となったけど、

みんなの気持ちを一つに



**生活と権利、いのちと健康を守ろう**  
化学一般京滋福地方本部  
新型コロナウイルス感染拡大の終息の見通しがたない中、今後経済への深刻な影響が懸念され、労働者の生活が脅かされる事態と



宮津地労協

**要求をスタンディング  
アピールで**



街頭アピール（スタンディング・アピール）を宮津市・ミップル前で行いました。  
各労組・団体から20名が参加、プラカードを持ち寄って掲げ、それぞれの立場からマイクでアピールを行い、市民に強く訴えました。

## ミーデー 100年

今年は、日本で初めてミーデーが行われてから100年。「8時間働けばふつうに暮らせる賃金、働き方は今も変わらない私たちの要求です。」  
新型コロナウイルス感染が広がる中、すべてのいのちを守るため、集会とデモを中止しました。みんなで集まることはできなくても、私たちの切実な要求をアピールし、みんなの気持ちを一つにする取り組みを行いました。



## 再び戦争の奉仕者にならない!

京都国公議長 新庄 義弘

コロナ感染拡大により、医療機関や行政の体制不備がより明らかになりました。国民の命と暮らしを守るためにも、公務員定員削減・民営化の中止、公的医療機関の統合再編計画の白紙撤回が必要です。

安倍政権は、コロナ感染に乗じた憲法改悪を企んでいます。私たち国公労働者は、憲法99条により憲法遵守義務を負っています。「再び戦争の奉仕者にならない」をスローガンに憲法改悪に反対する取り組みを強めていきます。



## 第91回全京都統一ミーデーアピール

第91回全京都統一ミーデーは、新型コロナウイルス感染拡大に対処しなければならない重大事態の下で、二条城前での大集会及びデモを取りやめる決断をしました。同時に、本日付の新聞広告（京都新聞）やSNSメッセージプロジェクトなどで、ひろく府民の皆さんに、ミーデーの意義と私たちの決意を発信します。

今ほど、いのちを守るために、労働者の団結が求められる時はありません。

新型コロナウイルスの感染拡大防止に先頭で立ち向かっている医療や公衆衛生現場、福祉労働者をはじめとする仲間と団結して、命と暮らし、雇用と生業を守りぬくために力を合わせることを心から呼びかけるものです。これまで政府が進めてきた保健所の統廃合や感染病床の削減をはじめ、公衆衛生部門と医療提供体制の縮小再編の被害は甚大です。自治体リストラを改め、医療提供体制の充実を強く求めます。

緊急事態宣言が発せられたもとの、「休業要請と補償はセットで」の悲鳴に応え、政府は、休業要請による収入減少を直接完全補償するべきです。昨年の消費税増税によって、景気悪化が進むところに、コロナによる経済危機が重なりました。今こそ直ちに消費税減税を行い、全ての人のくらしと生業を守るべきです。大企業の内部留保も軍事費も、いのちと暮らしのためにつかう政治こそ求めましょう。

「#月48万円必要」で全国に話題を呼んだ生活実態調査（最低生計費試算調査）の結果を確信にして、「8時間働けば、普通に暮らせる社会」の実現へ、全国一律最賃制度と最賃1500円をめざす運動を進めましょう。

安倍政権は、相変わらず改憲に執念を燃やしています。広範な市民と野党の共闘の力で、改憲を阻止し憲法が輝く平和な社会を実現しようではありませんか。

働く者の団結で、賃上げと均等待遇を実現し、労働者・国民本位の経済を取り戻すために、労働組合を強く、大きくしましょう。全ての労働者・府民の力をいまこそ総結集することを呼びかけるものです。

日本初のミーデーから一世紀。どんな情勢下でも、闘う歴史と伝統を受け継ぎ、働くものの団結で、生活と権利、平和と民主主義を守るため、ともに奮闘しましょう。働くものの団結、万歳！ 第91回ミーデー万歳！

2020年5月1日

第91回全京都統一ミーデー大会

コロナ禍の影響が甚大だ。生活の糧を失う者が、医療や自治体労働者は、命を守る最前線に身を削り働く。私たち建設労働者も工事キャンセルや大手現場休止で仕事量が激減。一体、あと何日耐えしのびは展望がみえるのか▼集まり、話し合い、一緒に行動することが基本の労働組合は、コロナ禍では「三密」とされ、あらゆる活動が萎縮しがちになる。組合専従の私も夜間や休日、家にいることがめっきり増えた。「これぞいいのかわ」と、もどかしい▼労働組合は、組合員や未組織の仲間と信頼されてこそ存在と思う。労働者が未曾有の危機に直面するのは仲間が離れてしまふ。何もできない状況に甘んじているのは、労働組合にとっても存亡の危機となる。そんな危機感に苛まれる▼今こそ、みんなで知恵を絞って、仲間の困難解決のために全力を尽くそう。会えなければ、電話、郵送、SNSで。テレビ会議も意外と悪くないね。「ZOOM呑み」も……。どんな困難な中でも、「組合として何をすべきか、何ができるか」を考え、その役割を發揮していきたい。(HS)

# TUBUYAKI

コロナ禍の影響が甚大だ。生活の糧を失う者が、医療や自治体労働者は、命を守る最前線に身を削り働く。私たち建設労働者も工事キャンセルや大手現場休止で仕事量が激減。一体、あと何日耐えしのびは展望がみえるのか▼集まり、話し合い、一緒に行動することが基本の労働組合は、コロナ禍では「三密」とされ、あらゆる活動が萎縮しがちになる。組合専従の私も夜間や休日、家にいることがめっきり増えた。「これぞいいのかわ」と、もどかしい▼労働組合は、組合員や未組織の仲間と信頼されてこそ存在と思う。労働者が未曾有の危機に直面するのは仲間が離れてしまふ。何もできない状況に甘んじているのは、労働組合にとっても存亡の危機となる。そんな危機感に苛まれる▼今こそ、みんなで知恵を絞って、仲間の困難解決のために全力を尽くそう。会えなければ、電話、郵送、SNSで。テレビ会議も意外と悪くないね。「ZOOM呑み」も……。どんな困難な中でも、「組合として何をすべきか、何ができるか」を考え、その役割を發揮していきたい。(HS)

# 結成50周年 新事務所で決意新たに

北上地区労

北上地区労の結成は1970年で、2020年

は北上地区労結成50周年の年にあたります。様々な結成50周年イベントを行う予定でしたが新型コロナウイルス感染症拡大の下ですべて来年以降に延期することになってしまいました。

他にも福祉保育労働支部のみなさんと合同で9の日宣伝を、11の日にはきたかみ原発ゼロネットの宣伝行動を毎月行



9の日宣伝で街頭署名行動

原発ゼロネットの仲間たち



▲京都府へ要請書を手渡す 梶川議長

新型コロナ

# 補償と自粛を一体に、地元経済は瀕死の事態

# スピード感もつて対応を

新型コロナウイルス感染拡大に伴って、外出自粛や休業要請、営業時間短縮要請が続き、労働者・市民の暮らしと雇用が脅かされています。京都総評は他団体と力を合わせ、要請行動や市民へのアピール行動などに取り組んでいます。

## 府市民総行動で緊急要請

### 4月16日 京都府・京都市に合同で緊急要請おこなう

4月16日、新型コロナウイルス対策緊急総行動として、京都府と京都市に合同要請を行いました。冒頭、代表して京都府総評梶川議長から「感染症防止対策の実効性を担保するためには、自粛による収入減少への十分な補償で、安心して休める

する独自助成など休業補償やイベント中止への補償、などを要請しました。

## 各団体から切実な声を行政にぶつける

各代表は、「業者はコロナで死ぬか、経済で死ぬかという事態。産業自身の存亡の危機。います

## スタンディングアピール

### 4月19日 政府は休むための補償と給付を

新型コロナウイルス感染拡大で様々な取り組みが中止や延期を余儀なくされる中、毎月19日に行われている市役所前での「戦争法廃止集会」にも影響が出ました。

4月19日は街頭演説とデモが中止され、各代表によるスピーチをおこなって、それを動画配信す

ぐ使える融資を。給付金額が決まらないなど安心も速やかに対応を（京商連）、「厚労省クラスター（新婦人）」「社会福祉協議会」の小口貸付の申請が窓口で殺到しており迅速な対応を（生健会）などの声が相次ぎました。

を吐き出させ、軍事費を削減して国民の生活にまわす。これが、政府の今すべきことではないか。できない安倍内閣には退陣してもらおう」と訴えました。

他にも市民アクションや1000人委員会などからスピーチ。約30人の参加者が「補償と自粛は一体」と要求の入ったプラカードや、PEACE旗を掲げてアピールしました。

所へ移転を行いました。下記に事務所を移転しました。

今コロナウイルス感染症

症の拡大の下で、なかなか組合活動も難しい環境です。この機会にネット活用など勉強中です。みんなのできることをやっていきましょう。

## 北上地区労 事務所移転しました

〒603-8222  
京都市北区紫野下築山町11  
電話・FAXは変わりません。  
(075-441-7624・075-441-8802)

## 『報道事変』なぜこの国では自由な質問できなくなったのか

民放労連 京都放送労働組合 執行委員 長岡 信行

コロナ禍報道一色の今のメディア状況。一方政治取材の現場で何が起きているのか。朝日新聞政治部記者としてペンを執る著者は、現在新聞労連に出向し中央執行委員長を務めているが取材の原点である質問が政治家にできない現状を痛烈に批判する。権力への



書名：『報道事変』なぜこの国では自由な質問できなくなったのか  
出版社：朝日新聞出版  
著者：南彰（朝日新聞記者）  
定価：本体790円＋税

菅官房長官会見における東京新聞記者への露骨な質問妨害。不都合な質問を封じ、軽視される記者の質問。権力の播さぶりに記者はどう立ち向かわべきか。政治部記者として歴代官房長官会見を500回以上取材

した著者は、「戦前の満州事変のように後から振り返った時に取り返しのつかない『事変』とならないようにとの警鐘と願いを込めて執筆した」と述懐している。メディア内外の人に読んでいただきたい本である。

**あなたの時給は1500円ある？**

1日の所定内8時間。土日祝日、年末年始（12月30日～1月4日）、盆休み（8月14日～16日）、5月1日が休みの職場だと、一か月の所定労働時間はおおむね月160時間。

**あなたの給料（ ）円－最賃の対象外の手当等（※）**  
**=（ ）円÷160時間=（ ）円**

※精皆動手当、家族手当、通勤手当、残業代、休日出動手当

新型コロナウイルス感染拡大の中、労働者の最低限の生活補償を担保するためにも、最低賃金の果たす役割重要。「最賃署名」の取り組みを強めましょう。先日よりネット署名も開始しています。あわせてご協力を。<https://t.co/XW8XNOvY1R?amp=1>